

平成 29 年(2017)  
5 月 1 日

## 目次

常任委員会報告	2
予算審査特別委員会報告	4
代表質問	6
一般質問	9
議会だよりモニター募集	15
審議結果(議案、請願・陳情)	
議会 TOPICS	16

す わ  
市議会だより

## 3 月 定例市議会

平成 29 年 3 月定例会は、2 月 20 日から  
3 月 15 日まで行われました。

今定例会では、諮問 3 件、議案 27 件、陳  
情 3 件、議員議案 1 件が審議されました。

2 月 20 日 本会議(議案説明、請願、陳情付託)  
21 日 休会(自宅審査)  
22 日 休会(自宅審査)  
23 日 本会議(議案質疑、付託)

2 月 27 日 本会議(代表質問、一般質問)  
28 日 本会議(一般質問)  
3 月 2 日 常任委員会  
3 日 常任委員会  
7 日 予算審査特別委員会  
8 日 予算審査特別委員会  
9 日 予算審査特別委員会  
10 日 予算審査特別委員会  
15 日 本会議(委員長報告、採決)

# 社員の子育て応援宣言 登録企業が好調に増加



◎平成28年度

諏訪市一般会計補正予算(第5号)

## 主な事業等

廃止路線代替バス運行費の追加分517万円、ふるさと寄附に係る返礼品代の追加経費及びふるさと振興基金積立金の追加分1億9662万円、社員の子育て応援宣言を行う事業所が増えたことによる補助金の追加分350万円など。補正額は2億9560万円で、累計額は215億9146万5千円。



## 主な質疑

問 子育て企業サポート事業奨励補助金事業の効果検証は。

答 こども課と共同して事業の効果に対してアンケートを取ってきたい。

問 応援宣言しているのはどのような企業か。

答 ある程度従業員がいる企業で、人材確保の点と、子育てにやさしい企業であることのアピールから申請している傾向がある。

## 採決の結果

討論はなく、全会一致可決。

## ◎諏訪市の「地酒での乾杯条例」の制定を求める陳情書

### 陳情の内容

諏訪の文化と地場産業である酒造業のますますの発展を図るため、地酒での乾杯条例の制定を求める陳情。

### 陳情者に対する主な質疑

問 条例制定を機会に新たに地域ブランド等を育てていくなど、次のステップは考えているのか。

答 最近の乾杯の多くはビールで行われているが、この流れを変えていきたい。関係者は様々な活動を行っているが、これを機にさらに推し進めていきたい。

## 採決の結果

討論はなく、全会一致可決。今後委員会として、条例制定に向けて調査研究していく。

## ◎日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める陳情

### 陳情の内容

被爆体験を持つ国の政府として、条例実現のため真剣に努力するよう求める陳情。

### 陳情者に対する主な質疑

問 核兵器禁止条約は現在、非保有国と保有国とで意見が分裂しており、条例が制定されても実効性が乏しいと思うが、その点についての考えは。

答 常任理事国は核保有国であり、今までのように綱引きしながらの交渉ではダメである。核兵器を禁止してゼロにすることがポイントである。生物兵器禁止、化学兵器禁止と同じように、核兵器おいても禁止条約を制度化したい。

## 趣旨採択への討論

○反対討論 昭和59年に、諏訪市議会も核兵器廃絶の平和都市推進の宣言の決議をしている。唯一の被爆国として、核兵器禁止条約に賛成してほしいので採択。

○賛成討論 今回の禁止条約では非保有国と保有国の意見が分かれています。実効性が疑われる。全世界的に核廃絶に向けて実効性のある努力をする必要があるため、趣旨採択。

## 採決の結果

趣旨採択について、反対1、賛成5で趣旨採択。

なお、当委員会では交渉会議に参加し、核廃絶に向けての実効性のある努力をしていくよう求める意見書を作成し、議員議案で提出することを全会一致で可決した。



# 国民健康保険税の税率が変わります！



## ◎諏訪市敬老祝金条例の改正について

### 議案の内容

敬老祝金を支給する対象年齢を変更するもので、今までは「88歳及び99歳以上となるもの」であったところを、「88歳及び99歳となるもの」に変更するもの。

### 主な質疑

**問** 今後の100歳以上の方の増加率は。  
**答** 過去2年の実績は30名前後であり、29年度は40名ほどを見込む。あくまで統計上だが、増加傾向であると考えられる。

**問** なぜ諏訪市はやめてしまったのか。

**答** 100歳については、国と県からも記念品が出ている。市も記念品に変えていく。

**問** 支援している家族への恩恵は。

**答** 介護者にはリフレッシュ事業等を行っている。

**問** 今後金額の変更はあるか。

**答** 見直しが必要な時が来ると思われる。

### 討論

○反対討論 敬意を払う意味で祝い金を出していたのに、急に100歳以上の方への支給をやめるのは冷たいのではないかと、予算の削減が目的だと思いが、そんなに100歳以上が多いわけではないので、少しでも敬意を払うべきだから反対。

○賛成討論 100歳の方へは国・県からお祝いが出るし、財政状況も厳しく、別の施策で健康長寿を目指してほしいので賛成。

### 採決の結果

反対1、賛成5で賛成多数で可決。

## ◎諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について

### 議案の内容

国民健康保険税の税率を変更するもの。新しい税率は別表のとおり。

区分		平成28年度	平成29年度
医療分	所得割	6.7%	7.2%
	資産割	23.5%	22.3%
後期高齢者支援金等課税額分	所得割	2.0%	2.7%
	資産割	7.7%	7.3%
介護納付金課税額分	所得割	1.12%	1.7%
	資産割	7.5%	7.1%

### 主な質疑

**問** 8割軽減はあるのか。  
**答** 後期高齢者は軽減する。

**問** 今後の資産割の減らし方は。

**答** 一気に外すと所得割に影響があるので、徐々に減らしていく。

### 討論

○反対討論 平均18%の値上げは加入者が大変である。もう少し緩和するべきでないか。一般会計から繰り入れしないと、これからは赤字の繰り返しであるから反対。

○賛成討論 法定外繰り入れを考えないとすれば、税率改定しかないと考えるから賛成。

### 採決の結果

反対1、賛成5で賛成多数で可決。



実質的には過去最大 新年度予算可決！



平成29年度予算は、限られた財源を有効に活用し、更なる発展を目指し、主な131事業のうち、新規61事業、拡充25事業、継続・繰越45事業と、意欲的に作成された予算である。

予算規模は、一般会計の総額は201億4千万円で前年比8億9千万円、4.6%の増と、前年比減額の予算を計上する近隣他市が多い中で、諏訪市は積極的な予算を組み、実質的には過去最大の予算規模となった。

また特別会計は、69億9千万円、公営企業会計は55億円であり、全会計の予算総額は326億3千万円と前年比8億5千万円、2.7%の増となった。

**1. 総体の意見として**  
金子市長の公約実現に向けた積極的でかつ細かいところまで配慮されている予算である。

2. 企画部

多くの新規事業を評価するが、一部事業では予算化されているものの具体的活用方法が未定な事業もあり、早急に具現化すべきである。

3. 総務部

ペーパーラボを活用した資源リサイクルの推進について、最新の技術をいち早く導入したので、諏訪市のPR、イメージ向上に活用してほしい。

4. 市民部

マイナンバーカードの普及率は11.9%と低い、これでも長野県19市中1位とのこと。更に普及を高める努力が必要。

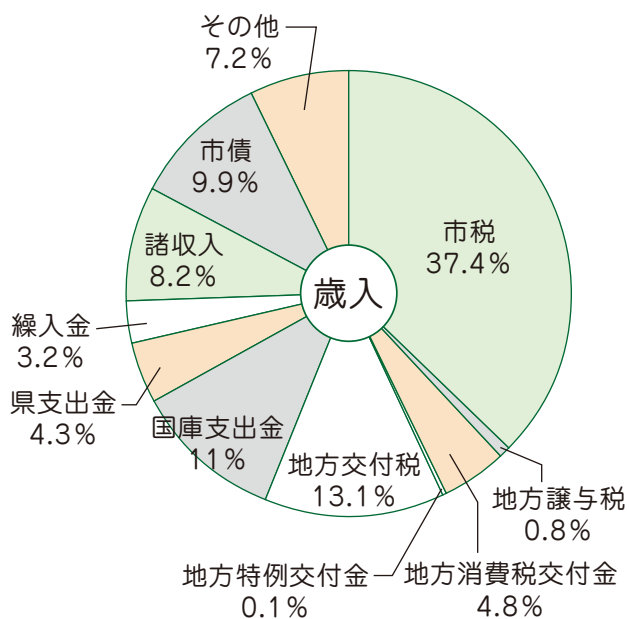
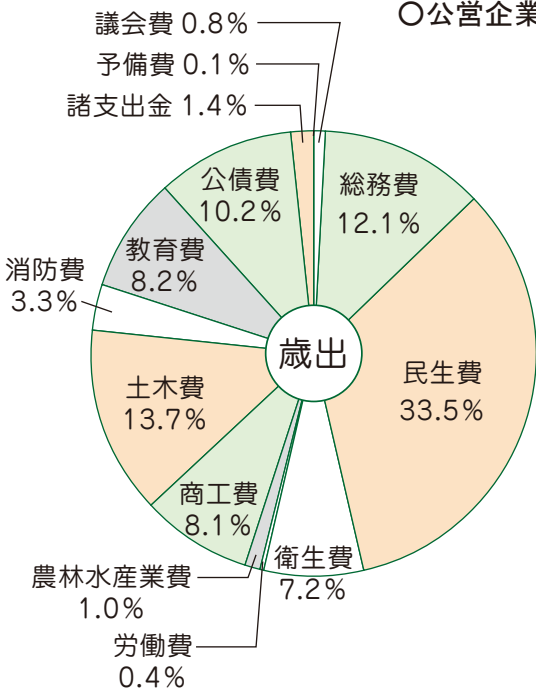
5. 健康福祉部

敬老長寿のお祝い金制度が変わり、100歳以上の方にはお祝いの支給がなくなることに伴って、「長生きしていただいてありがとうございます」の気持ちを表す制度の検討をしてほしい。

平成29年度 当初予算

- 一般会計
- 特別会計
- 公営企業会計

201億4,000万円 4.6%増  
69億9,000万円  
55億円





予算審査特別委員会の様子

6. 経済部

産業振興の予算は充実しており、情報の発信、PRの徹底をしてほしい。

7. 建設部

道路維持修繕、道路台帳の電子化、スマートIC調査、国道バイパス推進、白狐公園整備、水戸代団地建替等について質疑が行われた。

8. 教育委員会

諏訪南中学校の武道場建設、しんきん諏訪湖スタジアム整備等の質疑が行われた。

9. 消防庶務課

貯水槽の賃借料について、検

討の時期ではないか。

10. 特別会計・企業会計

国民健康保険のあり方、奨学資金制度、水道の耐震老朽化対策、温泉熱利用について質疑があった。

討論

◎平成29年度

諏訪市一般会計予算

○反対討論 生活困窮者対策、福祉対策、敬老祝い金等について配慮が足りないので反対。

○賛成討論 金子市政実質2年度目の予算として、今後の目指すべき将来展望を明確にし、131の主な事業を展開し積極的かつきめ細かな予算になっているので賛成。

◎平成29年度

国民健康保険特別会計予算

○反対討論 保険料の18%の値上げは負担が重く、支払困難者の生活を更に苦しめることになるので反対。

○賛成討論 国民健康保険特別会計予算について運営が厳しさを増す中、積立金も底をつき、保険料の改定はやむを得ない。医

平成29年度 事業別会計予算額内訳

(単位：千円・%)

会計項目	29年度予算	28年度予算	増減率	
一般会計	20,140,000	19,250,000	4.6	
特別会計	国民健康保険	6,235,493	6,271,786	△0.6
	霧ヶ峰リフト事業	46,332	54,476	△14.9
	奨学資金	6,937	5,810	19.4
	公設地方卸売市場事業	46,912	58,623	△20.0
	駐車場事業	19,654	20,918	△6.0
	後期高齢者医療	634,930	636,985	△0.3
公営企業会計	水道事業	1,386,869	1,247,444	11.2
	温泉事業	546,757	575,245	△5.0
	下水道事業	3,567,457	3,660,543	△2.5
総計	32,631,341	31,781,830	2.7	

採決の結果

平成29年度諏訪市一般会計予算お

療費の削減に取り組むため、新しく健康促進事業に取り組む等を評価して賛成。

よび国民健康保険特別会計予算については、反対2、賛成11で賛成多数可決。その他の8議案については、全会一致可決。

# 代表質問

各グループ(会派)が、政策上の問題などについて質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁であり、代表者の文責によるものです。



創生すわ  
牛山 智明

## ●新年度予算について

**問** 新年度の予算編成で市長が苦勞したところは。

**答** 大きな課題となったのは財源。水戸代団地建てかえなどの大きな事業や新規事業もあり、見込みより大幅な財源不足になった。交付金や起債などで対応し、減債基金も取り崩して編成した。

## ●旧東洋バルヴ跡地に多目的施設を

**問** 旧東洋バルヴ諏訪工場跡地の多目的施設の方向性は。

**答** 3月の駅周辺市街地あり方検討会で論点を整理し、方向性を絞りたい。文化センターの保存活用や駅前開発などの大型事業と絡めて優先順位などを検討したい。跡地に関する事業の着手時期は、様々な判断が必要になる。

## ●国保税の現状

**問** なぜ一般会計からの法定外繰り入れをしないのか。

**答** 各企業などの被用者保険に加入されている方々が人口のおよそ7割いる。この被用者保険加入者の公平性など、この方々の意見も聞きながら、慎重に判断していきたい。

## ●中央道諏訪湖SAについて

**問** 中央道諏訪湖SAのスマートインターへのアクセス道路(豊田小から江音寺の現県道)の拡張は。

**答** 豊田小学校西交差点から江音寺上のS字カーブ区間の現道整備については、安全対策等(歩道整備・道路改良)について、有賀区の皆様と一緒に、諏訪建設事務所と協議し進めていきたい。

**問** 中央道諏訪湖SAのスマートインター建設に伴い、公設市場に道の駅を建設するなど市場の有効

活用は。

**答** 市場は、県知事より開設許可を受けた施設であり、改めて用途変更の許可を受けなければならぬ。今後の市場のあり方審議会にて、研究課題としたい。



諏訪湖SAへのスマートインターチェンジ計画案

## ●農業の担い手の育成について

**問** 育成方法は。

**答** 担い手については、国や県の補助、融資等の支援制度を活用しながら、新規就農給付事業や収納セミナー、ベテラン農家からのノウハウを学べる里親制度等で就農者支援を行っていく。

## ●雨水対策について

**問** 雨水対策と関係河川の改修は。

**答** 河川への排水計画を行う際、流域と関係地元区と綿密な相談をし、また国土交通省による交付が活用できるように行っていく。



日本共産党  
諏訪市議員団  
井上 登

## ●国保税大幅値上げで住民生活は大丈夫か！

**問** 社会保障としての国保の意義は。

**答** 国民皆保険の中核で、職域単位の制度でカバーできない者をもって構成する医療保険制度の基盤的役割を果たす制度であると認識している。

**問** 平成30年度から国保の県単位化が図られる予定だが、今までの説明では、基金を全て使い切り、一般会計から繰り入れをしてでも値上げはしないと説明されてきたが、方針転換をし大幅値上げするのは、行政の継続性、信頼性から問題だという認識は。

**答** 会計は動いている。平成27年12月議会でも、平成30年度前であっても、財政状況により税率改定が必要であると答弁している。基金は使い切っている。

**問** 一般会計の繰り入れをしてないのは問題だが、運営協議会は、一般会計からの法定外繰り入れを求めている。県下19市の状況は。

**答** 平成27年度決算で12市が繰り入れをしている。

**問** 平均18%値上げの理由と残りの財源不足は。

**答** 今年度赤字分は置いておいて、29年度の収支均衡が目的。27%くらいあげないと単年度収支は均衡できないが、8年前の改定論議の中で20%を超えることはいかなるものかという意見があり、赤字は出るが20%以下の18%とした。

保険税率改定(1.82 億円)			年額保険税		比較	世帯1人当たり年額保険税(H29年度)	
			平成28年	平成29年改定率(1.82 億円)		年額保険税	H28比較
モデル世帯Ⅰ	世帯所得なし 30代 1人	資産なし	13,400円	17,500円	4,100円	年額保険税 17,500円	H28比較: 4,100円
最多所得区分 所得なし		7割軽減			30.6%UP		
モデル世帯Ⅱ	世帯所得なし 40代 1人	資産なし	15,500円	21,400円	5,900円	年額保険税 21,400円	H28比較: 5,900円
最多所得区分 所得なし介護世帯		7割軽減			38.1%UP		
モデル世帯Ⅲ	世帯所得200万円 40代夫婦 子1人	資産あり	300,200円	362,700円	62,500円	年額保険税 120,900円	H28比較: 20,834円
介護該当世帯 所得あり資産あり					20.8%UP		

モデル世帯による保険税率改定影響一覧

**問** 国保加入者の所得階層別世帯構成と収納率は。また、7割、5割、2割の医療分軽減世帯の割合は。

**答** 平成28年10月31日現在の世帯数は7464世帯。これを所得階層別の構成比で見ると、所得なしは1506世帯(20.2%)、1円以上100万円以下は2104世帯(28.2%)、101万以上200万円以下は7164世帯(23.6%)。軽減所得判定区分7割、5割、2割の軽減世帯は、50%をこえている。所得階層別の収納率の資料はないので、今後検討したい。

**要望** 階層別の資料は必要。軽減世帯が50%を超えている。市独自の軽減策を要望する。



無所属の会  
吉澤 美樹郎

●今後の観光への取り組みは

**問** 旅行者が期待する諏訪の魅力、観光の形態をどう捉えているか。  
**答** 都心から2時間のアクセスの

良さ、温泉や観光資源の多様性に魅力を感じているようで、個人客の体験型観光への人気が高まっている。

**問** 観光による経済効果を高めるには、滞在時間を長くする仕掛けが必要だと思われるが、考えは。

**答** 諏訪の持つ多彩な観光資源をつなぎ、体験や交流を含めた周遊観光ルートの造成が不可欠。諏訪ならではの提案をしていく。また、二次交通の検証も重要だと考える。

**問** 魅力ある観光地域づくりのために、絶えずニーズの把握が必要だと考える。受け皿となるDMOの検討をしているようだが、現在の状況は。

**答** 現在、加速化交付金事業の中で自立的な観光推進組織のあり方などの先進事例を参考に研究を進め、諏訪市観光産業連絡会において今後の方向性について検討を行っている。

●産業振興への取り組みは

**問** 諏訪市の持つ技術力を生かし、研究開発の分野に力を注いでいく必要があると思うが、企業の



ハブ機能が期待される駅周辺

誘致やマッチング等への取り組みは。  
**答** 研究開発部門の誘致は必要だと認識している。工場等立地促進条例に基づき誘致を進めて行く。また工業メッセや展示会を通し、企業間の研究開発と製造技術のマッチングを図るよう努めたい。

**問** 景気の低迷などにより地域を支えた専門技術者が減る中、人材確保、技術の継承が急務であると思うが考えは。

**答** インターシッピング、子育て企業サポート、女性技術者雇用応援などの雇用促進の施策を通し、技術の継承ができる環境づくりに取り組む。

●まちづくりへの取り組みは

**問** 交通網の中で駅はハブとしての役割であり、一二次交通との接点、人の交流点だと考える。機能を果たしているとは言い難い中で橋上化の話も聞くが、周辺のまちづくりにおける駅の位置付けは。

**答** 駅舎の建て替えをするだけで駅周辺のまちづくりが一新できるとは考えていない。駅前広場の面的整備、周辺の道路整備など俯瞰的な目線が必要と考える。

**問** 現在整備中の湖岸武津線について、完成後は賑いのある通りになると予想されるが、良好な景観を維持するために何らかの規制が必要ではないか。

**答** 沿線地区から景観や広告物の規制に関する要望もある。住民協定によるまちづくりの提案など、官民連携で景観づくりを進めたい。



用語解説

日本版DMOとは



日本版DMOとは、概ね「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役を担う法人のことを指します。観光地域づくりに携わる多様な関係者との合意形成、各種データ等の継続的な収集・分析および戦略の策定、また関連事業と戦略との調整・プロモーションなどの役割が要求されます。

制度としては、前記の要件を満たす法人が観光庁にて登録されることにより、関係省庁連携支援チームを通じた支援が受けられるようになります。

諏訪市では観光産業連絡会において、先進事例の研究を行いながら、今後の方向性について検討を進めています。

●議員議案● 1件の意見書を関係行政庁に提出しました



○日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、核兵器廃絶に向けた実効性のある努力をするよう求める意見書

核廃絶は、核保有国と非保有国との間の現実的な協力抜きに実現することはできない。唯一の被爆国である日本として、核兵器禁止条約に係る交渉にあたり、こうした視点に立ったより実効性のある努力をしていくことを求めるもの。



# 一般質問

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。



廻本 多都子

## ●災害時における障がい者の避難について

**問** 防災ラジオが無線のデジタル化で使用不可になるが、その対応は。

**答** 防災メール、LCV、フリーダイヤル等で周知していく。フリーダイヤルのステッカーの配布も考えている。これまでの防災ラジオ方式で、防災無線のデジタル派を受信できる防災ラジオの開発に向け、市長会を通じて国へ早期対応の要望を行う。

## ●福祉避難所の現状と課題は。

**答** 広域避難所に相談窓口を設け、専門職が個別に対応する。災害対策本部に福祉避難所を設け、必要な要援護者がいれば順次移送する。

## ●諏訪市公共施設等総合管理計画について

**問** 国は、老朽化した公共施設の統廃合や集約化を推進しているが、市の総合計画は。

**答** 計画策定し検討する中で財源不足が見込まれる。最適化と長寿命化、そして再編の3つを基本計画の柱として、10年間で10%削減する。

## ●公民館と図書館についてはどうするか。



四賀公民館

**答** 公民館も改修・修繕を実施し、駅周辺市街地あり方検討会と旧東バル跡地まで視野に入れた議論をしていく。

## ●霧ヶ峰メガソーラー事業について

**問** 市から事業所への意見書等の働きかけは。

**答** 現在調査中で、個別の働きかけはしていない。県知事には諏訪市長の意見として38項目の意見書を提出している。

**問** 他地区住民が区で反対決議をしたり、生活用水への心配の声も上がっているが、どうとらえているか。

**答** 現在、諏訪市長の意見書が県の意見書にも反映され、多方面にわたった調査が行われている。今後、調査結果をまとめた準備書を注視し、その影響を見極め、必要があれば制度で定められた市長の意見を述べていく。



近藤 一美

## ●湖周最終処分場計画について

**問** 経過と現状は。

**答** 平成23年3月諏訪市、岡谷

市、下諏訪町の協議において、最終処分場は諏訪市内に建設するという合意がなされた。その後、諏訪市は平成28年10月に市内板沢地区と建設について合意に達し発表した。現在は、建設に向けて基礎調査の準備をしている段階である。

## ●反対運動については。

**答** 建設予定地の下流域に当たる辰野町4地区、および区長会、又辰野町議会で白紙撤回の決議がなされた。

## ●今後の対応については。

**答** 下流域の皆様に、候補地選定の経過や施設概要の安全性について丁寧に説明し、理解を得る努力をしていく。

## ●説明会の日程はいつか。

**答** 現段階では未定である。

## ●要望

市民生活にとってなくてはならない重要な施設であるので、下流域の理解を得られるように今後も誠心誠意努力をしていきたい。





待望の駅前開発今夏着工、完成 31 年予定

### ●駅前開発の進め方

**問** 3月末までには、具体的計画が発表されるとのことだが、諏訪市としてまちづくりのチャンスと捉え、早めに対応できる組織を整えておく必要性があるのではないかと。

**答** 事前の準備体制や、施設管

理、運営組織の見直し等を含めて検討していく。

**問** 国から一定期間給与が支給される「地域おこし協力隊」等で外部の人材活用を。

**答** 地方創生の課題に対応する有効な制度と理解している。

**要望** 10名採用した近隣他市もあり、移住促進にも活用できるので、この制度を研究していただきたい。

### ●中洲小学校2度目の快挙

**問** ソニー子ども科学教育プログラムで、数百校の応募の中から最優秀賞を受賞したが、その内容は。どのような点が評価されたのか。

**答** 御柱祭で巨木を動かす際には、梃子(てこ)の原理が重要な役割をしている。中洲小では、地域の方々に600キロの大木を持ち込んでいただき、梃子棒を使って実験を行った。「地域に根差した素材の教材化」という命題を見事に実践できたことが評価された。



増澤 義治

### ●飼い主のいない猫(地域猫)対策について

**問** 長野県動物愛護管理推進計画に基づいた成果と現状は。

**答** ボランティア団体より動物愛護センターへ直接持ち込まれた地域猫に対し、避妊去勢手術を実施している。

**問** 来年度は具体的にどのような事業を実施するのか。

**答** 動物愛護センターを拠点とし、避妊去勢手術事業を継続実施する。各ボランティア団体と調整を始めている。

**問** 今後、避妊去勢手術の受け入れができる施設を全県的に設置するよう県に要望する考えは。

**答** 避妊去勢手術の受け入れができる施設が設置されれば、地域猫の減少が期待できるが、県は施設の複数設置を考えていないとのことから、本市では獣医師会等との連携にて地域猫の減少対策に取り組みたい。

### ●温泉施設維持管理について

**問** 温泉の修繕工事が行われ、工事終了まで日数を要したように思われるが、早期に工事着手を行えるよう事前の手立て等を含めた温泉事故への対応は。

**答** 道路敷地や公共用地内であれば、当日あるいは翌日の緊急修理対応となるが、許可が必要な場合は日数がかかる。

**問** 市内に配置される温泉施設や温泉管の管理はどのように行われているのか。

**答** 2日に1度のペースで点検、調整し管理を行っているが、機器



配管工事の様子

の異常があった場合には、即時対応している。

**問** 管路の実際の耐用年数は、同じ材質であっても電食のように置かれた環境下によつて長短があるように思われる。古い管から順に更新を行うことも大切だが、既設管の材質や埋設場所の環境等を把握・勘案するための調査は行っているか。

**答** 予測し得る特殊な環境・条件下に布設されている温泉管については、耐用年数のいかに関わらず、温泉管の状態の把握を行うと共に、悪条件に対応し得る管材への更新を行っている。



小松 孝一郎

### ●霧ヶ峰・諏訪湖の魅力をどう磨き上げるか

**問** 霧ヶ峰と諏訪湖をどのように活用するか。魅力をどのように磨き上げていくのか。

**答** 諏訪を代表する天与の恵み。観光地域ブランド「諏訪の国」で魅力を発信し、磨き上げに努め



霧ヶ峰ニッコウキスゲ

る。大局を見据え、大切に後世につないでいく。

**問** 霧ヶ峰を、四季を通して魅力ある場所にすべき。霧ヶ峰の将来を、組織を横断して包括的に検討すべきではないか。

**答** 県は霧ヶ峰みらい協議会で環境保全や適正利用について協議している。市としても全庁をあげて議論する必要性を感じている。

**問** 霧ヶ峰の活用については、夏のリゾート営業、高原マラソンや自転車競技、霧の中の散策、鹿牧場など様々なアイデアがある。市のサポートは。

**答** 様々なアイデアや申し出があるのは承知しているが、なかなか

事業として成立しない。民間活力を活かしたイベント誘致を図っていききたい。市も四季を通じた魅力発信を進めたい。

**問** 国は諏訪湖を「沿岸透明度モデル湖沼」に選定し、県は「諏訪湖創生ビジョン」の策定を目指している。市の取り組みは。

**答** 市は浄化槽の設置補助、流入河川の水質検査・清掃などを行っている。継続することが必要。

**問** 諏訪湖や川に親しむ活動を推進すべきでは。

**答** 湖周サイクリングロードの休憩所の検討を始めている。水辺環境整備も進めている。国のかわまちづくり支援制度を活用した「かわまちづくり計画」の策定を目指す。

### ●区未加入者増加に対する対応

**問** 区や自治体に加入していない世帯が増加している。市としてのサポート、対策は。

**答** 課題として認識している。「区への加入促進マニュアル」を作成し全区に配布、転入者には「区への加入のお願い」を配布してい

る。今後は宅建協会諏訪支部からも加入の働きかけをしてもらうため、協会・市・区三者による「区・自治体への加入促進に係る協定」の締結を検討する。



奥野 清

### ●多種多様な支援対策

**問** 臨時福祉給付金の29年度における支給状況は。

**答** 経済対策の一環として、国庫補助金1億3500万円について、一人当たり15000円を支給条件対象者である約9000人に支給する。対象者には3月末までに申請書を送付、6月末まで受け付ける。支給は4月より開始する。

**問** 諏訪市がんばる地域支援金の内容は。

**答** 区、自治会が主体的に行う課題解決のための後押しを目的とする支援制度。ソフト事業・ハード事業に分かれる。申請期間は5月末までで、それぞれ設定基準補助率内での支援金となるが、上限は

30万円。

● 充分とは言えないインフラ整備

問 地区要望に対するここ数年の建設課工事施工の状況と29年度予算は。

答 毎年度、全市から450(500)ヶ所の要望があがってくるが、施工率は約3割から4割で費用は約4億円前後。29年度は4億4000万円を計上。

問 舗装長寿命化修繕計画の趣意と予想効果は。

答 限られた予算で道路環境改善を目指す。従前の対処療法的に整備する事後保全型から、計画的な予防保全型の舗装整備方法に変える。計画的な舗装の維持管理が可能となり、コストの縮減が図られる。

● 住宅密集地の火災予防

問 糸魚川の大火災を教訓とした、本市の住宅密集地の状況把握と、火災予防への取り組みは。

答 広域において、高度通信指令システム導入に伴い6市町村の事前調査を実施。看板等の設置や危



諏訪広域消防指令センター

険個所、水利等情報の共有をしている。糸魚川火災の調査結果を踏まえて、調査員を招いた講習会の開催を検討中。



森山 博美

● 助けて！SNSトラブル

問 子どものSNSトラブルの現状と相談先は？

答 全国的に発生し、わからないうちに重大なところに巻き込まれていくケースもある。小中学校では講師を呼んで、学級や学年、PTAなどで啓発をしている。

- 相談窓口：  
学校生活相談センター  
0120-0-78310
- 長野県子ども支援センター  
子ども 0800-800-8035  
大人 026-225-9330
- 諏訪市消費生活センター  
0266-52-8199

● 命の水の安全管理

問 美味しい諏訪の水。安全な上水道の供給の取り組みや上下水道の水質検査の実態と今後の課題は。

答 安全な上水道の供給は、水道事業の最たる部分である。諏訪市では委託対応だが、上水道の維持管理は、市内配水池を含め、365日24時間体制で遠隔による集中監視を実施している。上水道は、水道法第20条他関係法令に基づ

き、原水30か所、端末管路浄水11か所の定期水質検査を行い、その他クリプトスポリジウム等の指標菌検査や放射性物質検査も実施している。下水道は、主に特定事業所の排水監視活動を行っている。老朽管路の更新を含む水道施設の耐震化を進め、市民のライフラインを守るため、事業を推進していく。

● 母子手帳を20歳まで

問 我が子が12歳になっても医療機関を受診する際には母子手帳を持参している。最近20歳までの母子手帳が評判になっている。子どもの成長が長期間で記録でき、受け取った子供としても、20年間育てられた記録として必要だと思いが、研究していく考えは。

答 20歳までの母子手帳については、情報収集やニーズ調査も実施し、良い物であれば導入に向けて研究していきたい。

紹介 「誕生記念ノート〜未来のあなたへ〜」(市川社協)  
子どもの愛された記録を残すノート。思春期に入る寸前と20歳になる時に、自己肯定感とアイデンティティの確認ができる。節目の

年に親の愛を感じられる取り組みも考えてもらいたい。



→現在諏訪市で使われている母子手帳



伊藤 浩平

●常勤の歯科衛生士の採用を

**問** 歯科衛生士を採用し、歯科衛生に係る取り組みを担っていただく体制づくりの考えは。

**答** 現在、在宅の非常勤の歯科衛生士6名に各種検診、相談に対応してもらっている。29年度は2名増員する。保育園、学校等への派遣は行っていないが、要望があればブラッシング指導など対応した

い。採用については今後の事業展開を見ながら研究していきたい。

平成27年度 長野県内19市に勤務する歯科衛生士数

	常勤(正規)	常勤(非正規)	非常勤
小諸市	0	2	0
佐久市	1	4	0
上田市	0	0	2
東御市	0	0	0
岡谷市	0	1	0
諏訪市	0	0	0
茅野市	0	0	0
伊那市	0	0	1
駒ヶ根市	0	0	0
飯田市	0	1	0

**問** 四賀小学校で行っているフツ化物洗口の取り組みを、他の学校でも行う考えは。

**答** 校長会も含めて前向きに研究中である。

**問** フツ化物洗口の集団実施に対する市長の考えは。

**答** 集団実施については、保護者のご理解、アレルギーへの対応、学校体制の準備など実情を見極めながら、教育委員会の積極的な協力も得られるので、協力していきたい。

●農地の取得下限面積の引下げについて

**問** 農地の取得下限面積の引き下げについて、市の考えは。

**答** 中山間地や山に面した農地については、集約化が難しく、耕作放棄地が増えている。定年帰農者等新規就農者や家庭菜園向けの農地として、耕作放棄地とならないよう農業委員会としても研究していく。

**問** 教育機会確保法が施行された。民間機関との連携が重要となっているが、今後の市の取り組みは。

**答** 法律ができたことで、大事な第一歩が始まったところ。連携が必要ではあるが、法的には不完全で、リーススクール、自宅学習での中身については触れられていない。また、文部科学省、県教育委員会からも指針、方針が出ていない。連携も含めて、これから研究していかなくてはならない。いざれにしても、子どもに寄り添うことがもつとも重要である。

**問** 諏訪湖上火花大会の今後の方向性については。

**答** 事務局にて、構成などり

ニューアルに向けて検討している。最終的には4月の実行委員会で決定していただく。



小林 佐敏

●公共施設に「新電力」導入！

**問** 電力全面自由化で市のスタンスは。

**答** 新年度、電気の購入先全面自由化を受け、市庁舎など31施設の電力を、割安な「新電力」に切りかえる。31施設の電気量は700万kwhで、電気料は総額1億5000万。新電力への切りかえにより、全体で5%以上、施設によつては10%の電気料金の縮減が可能。切りかえは平成29年度中を目指す。

●防犯灯設置への補助金、充実してほしい！

**問** 自治会の防犯灯負担が重荷になっているが防犯灯数や補助金制度はどうなっているか。

**答** 自治会が新設した防犯灯1灯



LED 防犯灯

につき1万円補助。  
2013年7月の調査で、蛍光灯の防犯灯は3048灯となっている。

**問** 全国で進んでいる防犯灯（LED）設置化への補助金要綱を見直す考えは。

**答** 庁舎ロビー周辺もLED化により明るくなり、使用電力も削減できた。地域支援や環境、防火防犯の観点からも、こういった制度で支援できるか内部調整中。

**問** 道路や河川・砂防・急傾斜地等の県要望事項の建設課窓口への一元化は。

**答** 県・市の管轄ごとに分けるのは、市民や区の役員には難しい。県要望は一括して4～5月に市へ提出いただき、仕分けの上、6月末にまとめて建設事務所に要望。

**問** 森林税は整備・管理上でまだ必要か。

**答** 間伐利用状況は諏訪地域で1209ha、総事業面積のうち諏訪市は639haで52.9%を占める。今後も整備・管理上で有意義な財源となるため継続を望む。

**問** 一括指定された国史跡の諏訪・茅野高島藩主諏訪家墓所の保存活用計画は。

**答** 指定を受け、高島城で関連展示、懸垂幕掲示を行う予定。今後は案内看板整備、記念事業として講演会を計画。文化財として「保存活用計画」を策定し、安全対策や復元作業を検討する際の基本的方針にしたい。



金子 喜彦

**●第五次諏訪市総合計画後期基本計画を進めるについて**

**問** 計画実現に向けた政策、施策の「透明度日本一」の進め方と情報開示方法は。

**答** 各種施策を効率的、効果的に進め、「行政評価」の公表、行政改革推進委員会による外部評価制度を試行し、その内容の検証、意見、提言等を生かす。市民とともに課題解決に向け取り組みを進める。



第五次諏訪市総合計画後期基本計画

**問** 区、自治会、各種団体との連携は。

**答** 地域の課題や意見を引き出すため、「ブロック別区長懇談会」、90区との「区長会議」、検討課題のテーマに関係する方との協議などにより、地域ニーズに沿った解決に取り組む。

**問** 市職員の意欲を高める取り組みは。

**答** 市長が係長の名前と顔、人柄等を知るため、フリートークによる懇談会を実施した。ワークライフバランスの実現、女性活躍の推

進、長時間労働の改善、地域社会への貢献等については、管理監督者が日々のコミュニケーションにより職員と意思疎通をはかり、職員風土、職場環境を作っていく。

**問** 理系女子の採用、「子育て女性雇用促進奨励補助金」、「子育て企業サポート事業奨励金」の現状と今後の進め方は。

**答** 女性技術者の採用有無調査の結果、28社の企業が採用したいと回答した。平成29年より「女性技術者雇用応援事業」として、女子学生を企業へ招き、職場体験や企業経営者との懇談会を行う。「子育て女性雇用促進奨励金」については、名称を「中高年齢者等雇用促進奨励金」から「雇用促進奨励金」に改め、対象に中学生以下の子供を育てる女性も加えることとした。製造業、ソフトウェア業を対象としていた「子育て企業サポート事業奨励金制度」は、すべての事業者に拡大し、市内企業が子育て制度の拡充を図ることで、安定的な雇用や従業員の定着等を図っていく。今後は、宣言内容の達成、制度の充実が進んだか検証していく。



議会だよりの企画、編集に携わってませんか



# 議会だよりモニターを募集します

■活動内容

- ・発行された議会だよりについて意見を述べる
- ・議会だよりに関するアンケート調査に回答すること
- ・諏訪市議会だよりモニター連絡会議への出席 など

■任期

委嘱状を交付された日から1年間

■対象

満18歳以上で、議会が行う広報・広聴活動に深い関心を持ち、かつ公正な社会的見識を有する市民の方(市の職員は除く)

■募集定員

15人以内  
(応募多数の場合は抽選となります)

■申し込み方法

5月31日(水曜日・必着)までに、申込書(議会事務局にて入手または諏訪市HPよりダウンロード)に必要な事項をご記入の上、直接または郵送、ファクス、電子メールにて議会事務局までご提出ください。

➡ たくさんのご応募をお待ちしております

## 《全会一致とならなかった提出案件審議結果と各議員の賛否一覧》

賛成…○ 反対…× 趣旨採択…△ ※なお、議長(宮下和昭)は、採決には加わりません。

区分	番号	件名	井上登	近藤美	増澤義治	牛山智明	吉澤美樹郎	小松孝一郎	金子喜彦	伊藤浩平	森山博美	廻本多都子	山田一治	小林佐敏	水野政利	奥野清	議決結果
議案	1	平成29年度諏訪市一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案	2	平成29年度諏訪市国民健康保険特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案	16	諏訪市敬老祝金条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案	18	諏訪市国民健康保険税条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
陳情	30	日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し条約実現に真剣に努力するよう求める陳情	○	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	趣旨採択
陳情	31	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情書	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	不採択

## 《全会一致で可決・採択された案件》

- |  |  |
|--|--|
| <p>■ 諮 問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて</li> <li>第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて</li> <li>第3号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて</li> </ul> <p>■ 議 案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第3号 平成29年度諏訪市霧ヶ峰リフト事業特別会計予算</li> <li>第4号 平成29年度諏訪市奨学資金特別会計予算</li> <li>第5号 平成29年度諏訪市公設地方卸売市場事業特別会計予算</li> <li>第6号 平成29年度諏訪市駐車場事業特別会計予算</li> <li>第7号 平成29年度諏訪市後期高齢者医療特別会計予算</li> <li>第8号 平成29年度諏訪市水道事業会計予算</li> <li>第9号 平成29年度諏訪市温泉事業会計予算</li> <li>第10号 平成29年度諏訪市下水道事業会計予算</li> <li>第11号 諏訪市庁舎整備基金条例を定めるについて</li> <li>第12号 諏訪市空家等対策協議会条例を定めるについて</li> <li>第13号 諏訪市非常勤特別職の職員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について</li> <li>第14号 諏訪市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部改正について</li> </ul> | <p>■ 議 案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第15号 諏訪市税条例等の一部改正について</li> <li>第17号 諏訪市デイサービスセンター条例の一部改正について</li> <li>第19号 諏訪市公営企業の設置等に関する条例及び諏訪市温泉事業給湯条例の一部改正について</li> <li>第20号 諏訪広域連合規約の一部変更について</li> <li>第21号 重要な公の施設の一部を長期かつ独占的に利用させるについて</li> <li>第22号 市道路線の認定について</li> <li>第23号 市道路線の変更について</li> <li>第24号 平成28年度諏訪市一般会計補正予算(第5号)</li> <li>第25号 平成28年度諏訪市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)</li> <li>第26号 平成28年度諏訪市奨学資金特別会計補正予算(第1号)</li> <li>第27号 平成28年度諏訪市下水道事業会計補正予算(第1号)</li> </ul> <p>■ 陳 情</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第29号 諏訪市の「地酒での乾杯条例」の制定を求める陳情書</li> </ul> <p>■ 議員 議案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1号 意見書の提出について(日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、核兵器廃絶に向けた実効性のある努力をするよう求める意見書)</li> </ul> |
|--|--|



## 諏訪湖漁協 藤森貫治組合長と対談を行いました どうなる 諏訪湖のワカサギ!?

今年も、諏訪湖の風物詩の一つであるワカサギの採卵時期が到来しました。昨年7月末には、諏訪湖のワカサギの大量死が一大センセーションを巻き起こしました。回収した死魚はワカサギ 1,064 kg、他魚は 1,457 kgに及び、全て焼却処分としましたが、その他にも天竜川への流出や湖底に沈んでいるもの等を推測すると、大量死は諏訪湖に生息する全魚類の80%強に及ぶだろうとのこと。原因は水中湖底の酸素不足と見られています。



今年のワカサギ採卵量は20億粒を予定、全国の湖沼約140ヶ所に向けて出荷を計画していましたが、いまだに河川への遡上は見られず、出荷計画は困難な状況とのこと。

諏訪湖のワカサギは、私たち市民の食卓を潤すだけでなく、採卵の出荷を通して全国各地に向け、諏訪湖のPRにも貢献しているだけに、残念な状況です。今後も残魚の保護に懸命に取り組んでもらい、ワカサギが増えていくことを祈ります。



### 議会を見学しよう!

諏訪市議会では、皆さんの傍聴をお待ちしています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に諏訪市役所議会棟2階の議会事務局窓口までお越しください。また、その際にアンケートをお配りしていますので、ご協力をお願いします。

**6月定例会は、6月5日(月)招集予定です。**  
詳しい日程は、招集日のおよそ2日前に決定する予定です。



### 議会に参加しよう!

議会に対して陳情書等を提出することができます。陳情書等の提出は、5月26日(金)正午までです。提出方法など、詳しくはお問い合わせください。



### 議会をLCVで見よう!

諏訪市議会では、本会議をLCVの「かりんチャンネル」で生中継しています。

また、本会議の会議録は、図書館、市役所ロビー、ホームページ、議会事務局で閲覧することができます。

6月定例会のテレビ中継日程予定	
月 日	会 議
6月 5日(月)	提案説明
6月 12日(月)	代表・一般質問
6月 13日(火)	一般質問
6月 14日(水)	一般質問
6月 21日(水)	委員長報告、採決

※中継日程は、変更になる場合があります。

委員 委員 委員 副委員長 委員長  
員 員 員 員 員  
廻 吉 近 井 奥  
本 澤 藤 上 野  
多 美 一  
都 樹 郎 美 登 清  
子 郎 美 登 清

#### 議会だより編集委員

「市民の皆さんと共に歩み続ける議会」。そんな思いを抱いて、年四回開催される各定例会の翌々月一日に、議会だよりを発行しています。

発行に臨んできた編集委員も、今回の第六十八号をもって、二年の任期を終了します。この間に、紙面の増加、縦書き変更、フルカラー化をすることにも、親しまれる紙面の構成に努めてまいりました。

さらに充実した内容を求めて、市民の皆様の参加を募り、第六十九号からは議会だよりモニター制度の導入も図ってまいります。

五月からは、議員任期の折り返し点を迎え、新たな議会体制がスタートします。それに伴い編集委員も一新します。今後とも市民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

奥野 清

編集後記

